

インターネット対応型ホームロボット「MARON-1」

2008年4月更新

概要

近年、ロボットは、パーソナル用途への展開が始まっており、ペット型ロボットなど、さまざまなロボットが販売開始されています。このような中、将来、ロボットは生活、福祉、医療、公共といった分野への利用の拡大が予想されており、家庭内などでも日常生活をサポートするようになると考えられています。富士通研究所では、実用面を重視したホームロボットを実現する最初のステップとして、外出先から携帯電話で操作して自宅の様子を確認や、家電操作を行うことができるインターネット対応型ホームロボット「MARON-1 (Mobile Agent Robot Of Next-generation)」を開発しました。

技術のポイント

- **携帯電話による遠隔操作機能**
 - 家の中を撮影して携帯電話の画面に表示し、家の様子が確認できます。
 - 前進、後退、左右回転といった詳細な指示を与えて自在に動かせます。
 - 家の間取り図を登録しておく、目標地点まで、障害物を避け、段差を乗り越えて自動で移動します。
 - MARON-1から送られてくる画像から、移動位置を指定することも可能です。
 - 赤外線リモコン対応のエアコン、テレビ、ビデオなどを操作可能です。
- **留守番機能**
 - カメラの前を通りすぎたモノを検知して、警報音を出すと共に、設定した電話番号に電話します。
- **ハンズフリー電話機能**
 - ハンズフリーの電話機として使え、ワンプッシュで電話することができます。
- **時間指定動作機能**
 - 指定された時間に登録された動作を実行し、家の様子を撮影することが可能です。

適用例

留守宅の状況監視、要介護者のいるご家庭の状況確認、夜間のオフィス監視などの応用が期待できます。

MARON-1基本スペック

形状(W×D×H) / 重量	32×36×32 cm / 5 kg
可動部	駆動輪×2(左右)、クローラー旋回×1、カメラ駆動×2(パン・チルト): 自由度5
センサー	赤外線受信/発信(リモコン用)×1、カメラ×2、近接距離センサー×1、バンパーSW×2
電源関係	ニッケル水素(本体内蔵)



MARON-1